



—解脱会太陽精神碑—

かけはし



～澄み渡る秋晴れの中～

第165回秋季大祭開催



解脱会・第165回秋季大祭が10月10日（金）から三日間に亘り盛大に開催され、錬心館では11日の式典・第2部に指導者・一般・少年部・保護者を含め総勢120名参加させて頂きました。

私達が日頃素晴らしい環境のもとで心身ともに錬磨し、目標に向かって一丸となって稽古が出来るのも、全ては解脱会のお蔭様であり、少しでも朝夕と鍛錬し稽古を積んできた成果を披露できる様に、門下生全員で心を一つにして、日頃の感謝の気持ちを精一杯込めて演武させて頂きました。

全国各地からお見えの多勢の会員の皆様からは、澄み渡る秋晴れの中、御霊地の林間一杯に盛大な拍手を頂き、真心のご声援に心から感謝すると共に、その期待に一層応えるべく今後も精一杯頑張っていきたいと思ひます。

祝 第165回秋季大



行事予定



《11月》

○ 館の行事

- 2日 北本産業祭演武 11時～（木刀教室・北本中）
- 8日 剣道体験教室・14時～15時（錬心館）
- 9日 剣道体験教室・10時～11時（錬心館）
- 16日 第42回解脱選抜少年剣道錬成大会（主催大会）

※稽古休み・15日（土）主催大会前日準備の為

27日（木）・28日（金）解脱会行事の為

一般部特別稽古会

11月23日（日） 10時30分～12時

11月24日（月・祝）10時30分～12時

※秋の審査会に向けて頑張りましょう！

○ 大会・審査会

- 2日 第12回埼玉県剣道大会・小学生の部（小学代表・県立武道館）
- 3日 第62回全日本剣道選手権大会（日本武道館）
- 6日 埼剣連月例稽古会（県立武道館）
- 9日 第12回桶川べに花杯剣道大会（小中代表・県立武道館）
- 12日・13日 平成26年度中学校剣道新人大会（団体、個人・県立武道館）
- 15日・16日 七段、六段審査会（名古屋）
- 19日 女子剣道講習会（一般・県立武道館）
- 23日 第59回埼玉県剣道大会（一般・県立武道館）
- 25日～28日 審査会 六段25日、七段26日、八段27日・28日（東京）
- 29日 四段、五段審査会（県立武道館）

○ 受入行事

- 27日 全国支部長会（解脱会）
- 28日 第134回解脱金剛御生誕祭（解脱会）
- 30日 埼玉県審議員審査員研究会（埼剣連）

《12月》

○ 館の行事

- 6日 道場大掃除（午前9時～11時半）
- 20日 稽古納め（全門下生・午前9時～10時半）

※一年の節目である稽古納めです。

是非、家族そろって子供達の頑張っている姿を見に来て下さい。

○ 大会・審査会

- 4日 埼剣連月例稽古会（県立武道館）
- 7日 第24回つくば市少年剣道錬成大会（小中代表・つくば市）
- 13日 第42回関東少年剣道錬成大会（小学生代表・小山）
- 14日 毎日レディース剣道大会（小中一般女子代表・日野）
- 14日 第34回片山剣友会招待親善試合（小学代表・新座）



☆みんなの広場☆

全日本道場連盟が主催する第36回日本剣道少年団研修会

「体験・実践作品」埼玉県予選に小学6年生有志7名が投稿致しました。
今回は2名の作品を紹介します。

「最高の先生と最高の仲間とともに」 6年 内村 日向

皆さん剣道を始めて、何年がたちましたか。僕は剣道を始めて7年の月日がたちました。その7年間で沢山の先生方の指導を受け、最高の仲間と共に剣道をしています。皆さんも先生方や最高の仲間達と一緒に剣道をやってきたと思います。そんな先生方、仲間に一度でも「感謝」の気持ちを持ったことがあると思います。

「感謝」それは、自分の受けた好意や親切をありがたく感じて礼を言うことです。皆さんも必ず一度は、経験したことがあると思います。人に感謝する事や人に感謝される事。僕は「感謝」について剣道を通じて先生に教えていただいたのは、試合で負けた時のことでした。「打って反省、打たれて感謝」と先生に言われました。初めてその話を聞いた時は、「どうして、負けた相手に感謝なんかしなきゃいけないんだろう。」と思い不思議でした。「試合で負けたのは、何か自分に悪いところや何か足りないところがあるから負けたんだ、そこを気づかせてくれた相手に感謝しなさい。」とその話を聞いて、打たれた時はもっと相手に感謝しよう、もっと自分の悪いところや足りないところを考えようと思いました。

次に剣道を学んでいけば一度は聞いた事があると思いますが「剣道の理念」、「剣道は、剣の理法の修練による、人間形成の道である」これこそが剣道を学ぶ目的であり最も大切な事です。僕は稽古の時、よく先生に言われる言葉があります。「人は誰もが、楽な方楽な方へ進んでしまうことがとても多い。そこをどのようにして、つらい苦しい方へ進むことが出来、強くなる事が出来るかは、自分次第だ。」と先生に何度も言われてきました。日常の生活に置き換えると、「自分さえ良ければそれで良い」と考えて流されて日々を過ごして生活している自分がいましたが剣道を始めたお蔭で少しずつ、自分のあまい心に打ち勝つ事ができる様になり、特に目配り・気配りを心がけて生活ができる様になりました。本当に人間形成とは難しく、これからもしっかりと学び歩んでいきたいと思っています。

最後に、これまで剣道を通して色々な事を学ぶ事ができ、少しずつですが成長できたのは、両親、そして最高の先生方や最高の仲間たちの支えがあってこそだと思います。今まで支えてくれた人達に感謝の気持ちを伝えたいと思います。「ありがとう。」そしてこれからも目標に向かって頑張ります。

「剣道はすべてつながっている」 6年 大西 尊

僕が剣道を始めたのは幼稚園の年長の時に両親に進められたのがきっかけです。両親は心の強い子になってほしいから剣道を選び、そして僕は解脱錬心館に入門しました。その時に先生からは剣道だけでなく、礼儀作法等毎日の生活に関する事も教えていただきました。その中でもよく言われたのが「剣道即生活、生活即剣道」です。教えていただいた時はまだ幼稚園だったのでよく意味が分かりませんでした。小学生になり、また色々な稽古をつんでいくうちに「剣道即生活、生活即剣道」の意味が少しずつ分かってきました。それは剣道と生活はつながっていて、生活が乱れると剣道も乱れてしまうということです。学年が上がるにつれて勉強が難しくなっていく、うまく時間を使うことが出来ず勉強をさぼったり手を抜いてしまうことがありました。剣道の稽古も厳しくなってきたなかなか思うようにいかない日が続きました。先生に、「勉強を一生懸命、頑張る事が出来る人は剣道も強くなる」とお話しをして頂きましたが僕は先生の言葉を信じず、勉強よりも剣道だと勉強をおろそかにすることがありました。そんな時、父から先生の「剣道即生活、生活即剣道」の話を改めてされてハッとしました。「生活の乱れは剣道の乱れ」その時の僕の状態がすべてを物語っていたのです。一所懸命学ぶ事が出来るということは、色々な事を考える力が身につきます。剣道もどうやったら相手の手元が上がるか、いろいろ工夫し一瞬の判断力が必要です。僕はあらためて、剣道と勉強はつながっていると思いました。

まだ僕は、剣道も生活や勉強も上手に両立できているとは言えませんが先生に教えていただいた事を信じ、「剣道はすべてつながっている」この事を忘れずに勉強や生活をしっかりしていこうと思います。

そして日本一を目指して剣道も頑張っていきます。

大会速報！ 第39回全国道場対抗剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会

愛知県遠征

平成26年度愛知県道場連盟「近藤杯」争奪剣道大会



中学男子個人の部 新井雄大 **全国ベスト16**
小学男子個人の部 大西 尊
小学女子個人の部 大泉波音

中学生の部 解脱 鈴木悠・若松・新井・林・泉
北本 栗原・小林・鈴木秀・野添・内村
小学生の部 解脱 大泉・矢部・大西・新井・内村
北本 関根・高野・濟藤・小嶋・岡部・加藤
低学年の部 解脱 池田・関根・小嶋・荒井・柳

◎道場対抗

解脱 内村・泉・小野・小林・関根
北本 大西・鈴木・田中・清水・柳

～お知らせ～

☆昇段おめでとうございます-----

二段 加藤 瑞穂 (中3)
初段 新井聡一郎 (中2)
久保田湧太 (中2)



—平成26年10月19日取得—

☆9月21日(日)に齋藤勝実先生、七段昇段祝賀会を錬心館にて開催致しました。



祝賀会に参加して頂いた方々、
そして沢山の方々にご協賛を頂
き、誠に有難うございました。

☆大会通信

9月★わらび剣友会招待親善試合
中学生団体 優勝 鈴木・林・新井
小学生団体 3位 関根・小嶋・濟藤・高野・加藤
低学年団体 優勝 池田・関根・小嶋・荒井・柳

★中学生地区予選
男子団体優勝 北本中(県大出場)
栗原・若松・鈴木・林・新井・小林・鈴木
第3位 北本東中(県大出場) 細谷・松尾

男子個人
優勝 新井雄大(県大出場) 準優勝 鈴木悠誠(県大出場)
第3位 林 泰輝(県大出場)
県大会出場 若松・野添・栗原・鈴木

女子個人
優勝 小嶋紅音(県大出場) 第3位 谷口美月(県大出場)
県大会出場 安達・若松

編集後記

日が落ちるのが早くなり朝晩の気温も低くなり、秋を感じる今日この頃です。体調管理には気を付けて来月の第42回の主催大会を全員で成功させ、2連続優勝目指して頑張りましょう!(Y)

けん おし 剣の歳え 87

われいがいみなしなり
～我以外皆師也～

館長 田中 宏明

本当に大切なもの

◆早いもので、今年も後二ヶ月余りとなった。「終わり良ければすべて良し」門下生諸君には、充実した一年となるよう、更に努力精進して欲しいと願うものだ。◆私が育った時代は、勉強でも剣道でも挨拶一つでも、出来ていないとその場で厳しく指導された。口で言うだけならまだしも、手が先に出るといことも日常茶飯事であった。勿論それは、家庭だけでなく学校でも道場でも、悪戯をすれば近所のおじさんにも厳しく叱られた。そして、その時のことは未だに鮮明に覚えている。決して暴力を肯定する訳ではないが、「二度目はこれ位では済まされない」と恐れをなしてか、それからは充分気をつけたお陰で同じ失敗どころか、より良い方向に変わっていったようにさえ思える。◆なぜ、あえてこのような話をするかという、今学校で先生の暴力は当然禁止されているが、逆に生徒が先生に暴力を振るったり、生徒間のいじめによる暴力は年々増加の傾向にある。家庭で父親のゲンコツの数は減ったが虐待や親と子で殺し合うような悲惨な事件は増加の一途だ。近所の怖いおじさんも、最近では弱者を襲うような本当の怖いおじさんになり下がった人も出て来た。よくよく考えてみると、一昔前に受けた暴力と云われるものとは異質な、悪質で恥知らずな暴力がどんどん増加している。なぜ、そうなったか？誰が何を駄目にしていったのか？私達大人が、真剣に反省しつつ、取り組んでいかなければならない重大な問題である。◆大切なものとは？親父のゲンコツは否定されても、そのゲンコツの奥に秘められた子を想う親心まで否定されるものではない。「子供の眼の高さで」等という耳触りのよい言葉や目に見える現象ばかりに捉われて、その奥にある人として一番大切な心の在り方を忘れてしまっは「仏作って魂入れず」絶対に本物にはなれない。自分の親や家族に心配ばかりかけているような人間がいくら世界平和を唱えても、誰も心を動かさない。幸せも大切なものも遠くには無い。自分の一番身近にそれはあるはずだ。◆変えてはいけないものと変えていくべきこと。「不易流行」ではないが、解脱錬心館として変えてはならない「剣の修練による人間形成の道」という理念、目的を常に中心にして、本当に大切なものを知り、それをしっかりと守っていける、本物の道場で在りたいと心から願うものである。